2020年度自治体SDGsモデル事業提案概要（提案様式3）

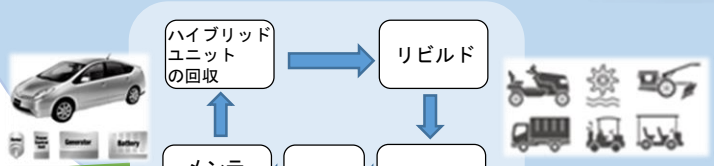
自治体SDGsモデル事業名： コミュニティを核とした 持続可能な地域社会の構築	提案者名：宮城県石巻市

取組内容の概要：公共交通と地域カーシェアリングを結び付ける地域交通情報アプリケーション（ローカル版MaaS）を活用し、グリーンスローモビリティを地域の支え合いによる新たな移動手段として確立する。また、未来技術を搭載したAIロボットを高齢者と地域を繋ぐ新たなコミュニケーションツールとし、高齢者の孤立防止等を図る。

経済

＜取組課題＞
新産業の創出等による、
地域に雇用を生み稼ぐ仕組みの構築

○ハイブリッドリユース事業の展開
・豊田通商㈱と地元事業者が連携し、ハイブリッド基幹ユニットをリユースし、電気自動車（グリーンスローモビリティ）として活用
・新産業創出による雇用の拡大



相乗効果
（経済→環境）
ハイブリッドリユース事業による資源の有効利用及び温室効果ガス排出抑制

（環境→経済）
100%自然エネルギーのグリーンスローモビリティ活用による環境に配慮した新産業の創出

相乗効果
（経済→社会）
新産業創出に伴う移動手段の利便性向上

（社会→経済）
高齢者等の外出機会の創出による消費拡大

社会

＜取組課題＞
東日本大震災に起因した半島沿岸部及び新市街地における高齢者の孤立防止と新たな移動手段の構築

○地域交通情報アプリケーション（ローカル版MaaS）を活用した地域カーシェアリングの運用
・IoT/ICT技術による公共交通と地域カーシェアリングの結び付け

○コミュニケーションロボットによる高齢者支援
・会話形式の動的支援によるデジタルデバイドの解消
・高齢世帯へ設置し、相談支援を行うとともに、地域交通情報アプリケーション（ローカル版MaaS）との連携により外出機会を創出
・学生がロボットを組み立て高齢者宅へ配置
・コールセンターによる相談支援を併用

相乗効果
（環境→社会）
グリーンスローモビリティ活用による高齢者の外出機会の創出及びコミュニティの活性化

（社会→環境）
積極的な啓発活動による環境人材の育成

三側面をつなぐ統合的取組

グリーンスローモビリティを活用した協働による新たな移動手段の構築事業

- **地域交通情報アプリケーションの構築**
- **グリーンスローモビリティ（ハイブリッドリユース）の活用**
- **コミュニケーションロボットの活用**

環境

＜取組課題＞
環境にやさしい低炭素社会の構築

○グリーンスローモビリティの活用
・ハイブリッドリユース事業で生産された電気自動車（グリーンスローモビリティ）を、コミュニケーションロボットを通じて高齢者が使用
・太陽光電池を搭載した非接触給電ステーションの設置により、100%自然エネルギーによるグリーンスローモビリティを実現
・新たに整備した新市街地（新蛇田地区）で実証実験を行い、その後、半島沿岸部、市全域への展開と将来的な自動運転化を目指す。